

両筑平野用水二期事業



水がささえる豊かな社会

 独立行政法人 水資源機構
両筑平野用水管理所

〒838-0012 福岡県朝倉市江川1660-67 TEL:(0946)25-0113
ホームページアドレス <http://www.water.go.jp/chikugo/ryochiku/>
公式ツイッターURL http://twitter.com/jwa_egawadam

両筑平野用水二期事業

両筑平野用水施設は、昭和50年(1975年)の管理開始以来、肥沃な農業地帯である両筑平野地域へ農業用水を補給し、食料供給基盤を支える施設としての機能や、福岡・佐賀両県内の生活用水や朝倉市の工業用水を供給する重要なライフラインとしての機能を果たしてきました。

しかし、管理移行から既に30余年が経過し、施設の老朽化に伴って施設の機能低下が進行しており、安定的な用水供給の確保や施設の安全性確保への危惧が生じてきました。また、両筑土地改良区が管理している水路施設は、兼業農家の増加に伴う水利用時期の集中や操作員の高齢化等に加え、施設の老朽化や湧水・ため池等の地区内補助水源の減少により、きめ細やかな配水操作への対応に困難を来してきました。

このため、両筑平野用水二期事業において、老朽化した施設の改築・更新を行うとともに、配水形態を踏まえた施設の改善や水管システムの導入を行うことにより、水の安定供給と施設の安全性の確保を図ることを目的として、事業を実施して参りました。

事業のあゆみ

平成17年3月31日	国営土地改良事業両筑平野用水二期地区全体実施設計完了 (着手平成12年4月)
平成17年4月26日	水資源開発基本計画(筑後川水系)の全部変更
平成18年1月24日	両筑平野用水二期事業実施計画の認可
平成18年1月25日	両筑平野用水総合事業所に移行
平成25年2月22日	水資源開発計画(筑後川水系)の一部変更
平成25年5月7日	両筑平野用水二期事業実施計画変更の認可
平成30年3月31日	両筑平野用水二期事業完了

事業工期

平成17年度から平成29年度まで(13年間)

事業費

共用施設 (江川ダム、女男石頭首工、導水路等)	38億円
農業専用施設 (甘木橋頭首工、幹支線水路)	147億円
総事業費	185億円

主要な工事の概要

水源施設(江川ダム利水放流施設改築)	1式
頭首工(女男石頭首工、甘木橋頭首工改築)	2ヶ所
導水路(寺内導水路、三奈木導水路改築)	4.2km
幹支線水路(トンネル、開水路、管水路改築)	21.5km(分水工89ヶ所)
水管理施設(ダム・頭首工水管用制御処理設備更新、農専水路水管システム新設)	1式

老朽化した施設

施設の老朽化により、埋設管からの漏水が頻繁に発生したり、トンネル内に亀裂が発生するなど、安定的に水を届け続けることや、施設の安全確保が難しくなっていました。

共用施設



副バルブが無かった為、緊急時の対応が出来なかった利水放流バルブ



改築前の女男石頭首工



トンネル覆工から漏水している寺内導水路

農業専用施設



水路トンネル覆工からの漏水



老朽化した開水路



老朽化した分水工



管水路内の漏水

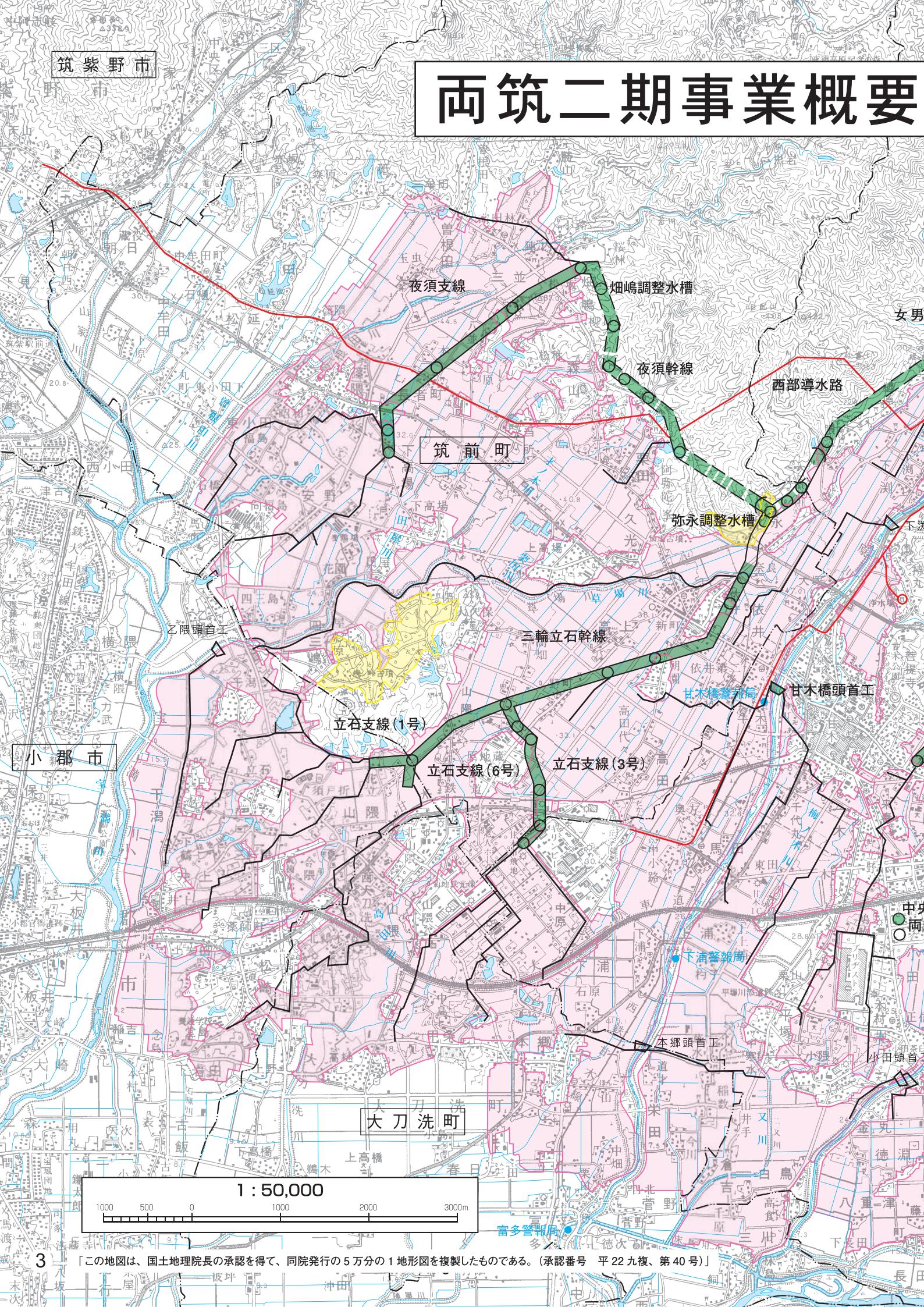


老朽化と金属の摩耗が進んだ頭首工



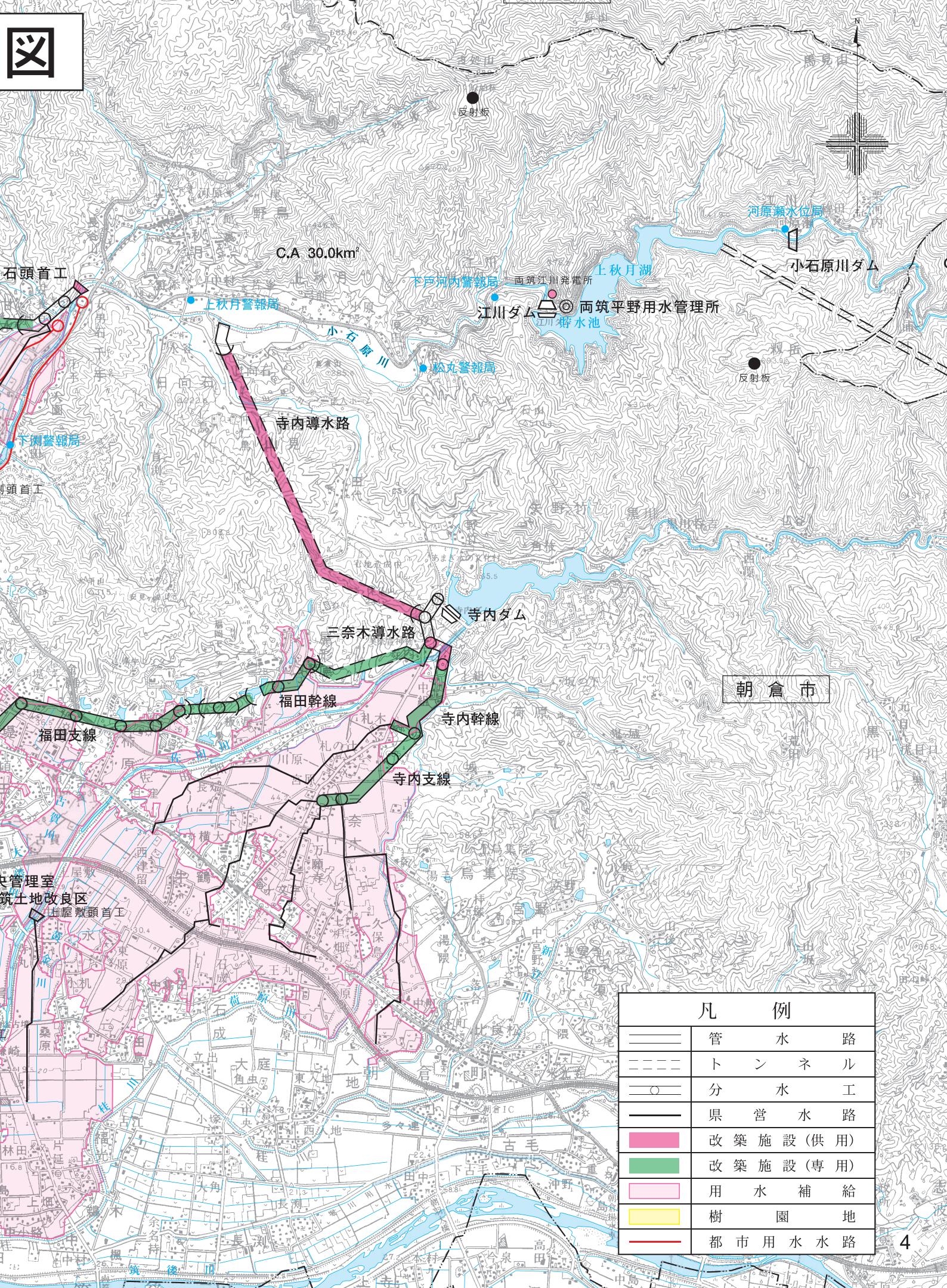
人力による配水操作

両筑二期事業概要



嘉 麻 市

義



管水路
トンネル
分水工
県営水路
改築施設(供用)
改築施設(専用)
用水補給
樹園地
都市用水水路

改築した施設

老朽化した施設を改築して、施設の安全性の回復と長寿命化により、水資源の有効活用を図りました。

共用施設



利水放流副バルブ

副バルブが設置され迅速な故障対応が可能となった。

女男石頭首工

水位の安定性等を図るため
2分割した洪水吐ゲート



寺内導水路

寺内導水路のトンネル内部を補強



農業専用施設



増厚工法で補強した水路トンネル



開水路に蓋掛けをして水路のゴミ対策



コンクリート表面被覆工でリニューアルされた開水路内面



管更生工法でリニューアルされた管水路内部



安定通水のため分水工水槽の規模を大型化



ゲート本体と油圧設備を更新した甘木橋頭首工

合理的な水利用

水管理システムを導入したことにより、配水操作の労力を軽減し、緊急時の迅速な対応やきめ細やかな配水対応が可能になりました。

中央管理室で集中監視・制御



配水作業は、中央管理室から監視・操作が可能に

配水対応の安定化・迅速化のために造成した調整水槽



弥永調整水槽



畠嶋調整水槽

二期事業により整備した施設を有効に活用し、管理を実施してまいります。